

県南保健所感染症情報

令和7年 第 32 週

令和7年8月4日 ~ 令和7年8月10日

【発行元】長崎県県南保健所 地域保健課 TEL:0957-62-3289

◇◇定点把握の対象となる5類感染症 発生状況◇◇ (定点当たり患者数)

定点	疾病名	週別 発生状況					国・県・県南 発生状況					基準値		
		県南保健所					第 32 週					警報レベル		注意 報レ ベル
		30 週	31 週	32 週	30 週	31 週	32 週	全国	長崎県	県南保健所	開始	終息		
	インフルエンザ定点	0.00	0.20	0.80			0.30	0.41	0.80			30	10	10
	COVID-19	6.40	10.20	7.60			6.13	7.67	7.60					
	急性呼吸器感染症 (ARI)	18.40	32.60	21.80			52.49	59.10	21.80					
小児科 定点	RSウイルス感染症	0.00	0.00	0.00			0.86	0.52	0.00					
	咽頭結膜熱	0.33	0.33	0.67			0.42	0.58	0.67			3	1	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	6.33	警報 11.00	警報 7.67	警報		1.74	2.35	7.67	警報		8	4	
	感染性胃腸炎	1.00	0.00	0.00			4.59	2.81	0.00			20	12	
	水痘	0.00	0.33	0.00			0.26	0.23	0.00			2	1	1
	手足口病	0.00	0.00	0.00			0.58	0.13	0.00			5	2	
	伝染性紅斑(リンゴ病)	0.00	1.33	3.33			2.07	警報 2.19	警報 3.33	警報		2	1	
	突発性発しん	0.00	0.67	0.33			0.34	0.45	0.33					
	ヘルパンギーナ	1.00	0.00	0.33			1.69	0.65	0.33			6	2	
	流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	0.00	0.00	0.00			0.05	0.03	0.00			6	2	3
眼科 定点	急性出血性結膜炎	0.00	1.00	警報 2.00	警報		0.02	0.29	2.00	警報		1	0.1	
	流行性角結膜炎	2.00	15.00	警報 8.00	警報		0.86	1.71	8.00	警報		8	4	
基幹 定点	細菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00			0.02	0.00	0.00					
	無菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00			0.05	0.00	0.00					
	マイコプラズマ肺炎	0.00	1.00	3.00			1.23	0.75	3.00					
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)	0.00	0.00	0.00			0.00	0.00	0.00					
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスであるものに限る)	0.00	0.00	0.00			0.00	0.00	0.00					

◇◇全数把握対象感染症 発生状況◇◇ ※報告日掲載 (県作成速報:診断日掲載)

一類感染症	報告なし
二類感染症	報告なし
三類感染症	報告なし
四類感染症	報告なし
五類感染症	【第32週】 百日咳 患者4名(10歳未満・男性1名、10代・女性3名)

◇◇トピックス・季節情報◇◇

☆伝染性紅斑(リンゴ病)が警報レベルになりましたので注意しましょう。

伝染性紅斑は、ヒトパルボウイルスB19による感染症で、小児を中心にみられる流行性の発しん性の病気です。両頬がリンゴのように赤くなることから、「リンゴ病」と呼ばれることもあります。約10~20日の潜伏期間の後、微熱やかぜの症状などがみられ、その後、両頬に蝶の羽のような境界鮮明な赤い発しん(紅斑)が現れます。続いて、体や手・足に網目状やレース状の発しんが広がりますが、これらの発しんは1週間程度で消失し、ほとんどは合併症を起こすことなく自然に回復します。一方で、これまで伝染性紅斑に感染したことのない女性が妊娠中に感染した場合、胎児にも感染し、胎児水腫などの重篤な状態や、流産のリスクとなる可能性がありますので、注意が必要です。

感染経路は、飛沫感染や接触感染で、かぜ症状のある時期にウイルスの排出が最も多くなるといわれています。治療薬やワクチンがないため、感染予防が重要です。特に妊娠中の方やそのご家族ではかぜ症状がある方との接触をできる限り避け、手洗いやマスクの適切な着用など感染予防に努めましょう。

☆蚊媒介感染症に注意しましょう。

蚊媒介感染症とは、病原体を保有する蚊に刺されることによって起こる感染症のことです。主な蚊媒介感染症には、ウイルス疾患であるデング熱、チクングニア熱、ジカウイルス感染症、日本脳炎、ウエストナイル熱、黄熱、原虫疾患であるマラリアなどがあります。これらの感染症は主に熱帯、亜熱帯地域で流行しています。

チクングニア熱については、欧州を含む複数の国で発生が報告されており、本年7月には、中華人民共和国(広東省佛山市)でチクングニア熱の患者が急増しています。チクングニア熱は、2~12日(通常3~7日)の潜伏期後、多くは急性熱性疾患の症状を呈し、発熱と関節痛等の症状がみられます。

今後、海外渡航者の輸入症例等の増加する可能性が考えられますので注意が必要です。流行地域や屋外の蚊が多くいる場所で活動する場合は、できるだけ肌を露出せず、虫よけ剤を使用するなど、蚊にさされないよう注意してください。